

新時代の名医たち 2015 最先端医療特集②3 がん免疫細胞治療 ●永久保存版

患者が主役のがん免疫細胞治療

- ① 活性NK細胞治療
- ② 新樹状細胞ワクチン治療
- ③ ガンマ・デルタT細胞治療

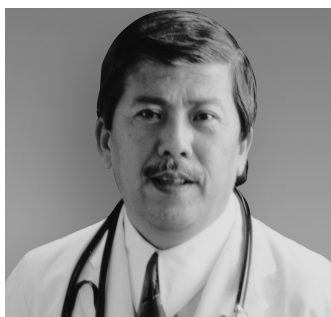
医療法人社団 聖友会
内藤メディカルクリニック 理事長 内藤 康弘 医学博士

がん治療において、患者自身が闘う強い精神力とがん克服の希望を持ち続けることが非常に大切。治療効果を高めるためにも患者自身のモチベーションを高めることもあり、また医師は患者への積極的な治療と同時に患者に寄り添った精神面のフォローがとても重要なことです。

がんと積極的に向かう気持ちが免疫力にプラス効果を

「がんの免疫細胞治療の技術は日進月歩。医師は常に新しい戦略で、より効果的な治療法をいち早く取り入れていく。」活性NK細胞治療、新樹状細胞ワクチン治療、ガンマ・デル

タT細胞治療など、最新のがん免疫治療を行う内藤メディカルクリニック院長の内藤康弘医師はその治療方針を患者に説明する前に、「患者さん自身が闘う強い精神力とがん克服の希望を持ち続けることが大切である。20年にも及ぶ



profile ▶内藤康弘(ないとう やすひろ)
東邦大学医学部卒業、東邦大学附属大橋病院 産婦人科及び麻酔科研修、河北病院 産婦人科、名古屋聖霊病院産婦人科 医長、医療法人社団おどり病院 副院長、新島森病院 院長、医療法人社団住友記念病院 理事長を経て、現在医療法人社団聖友会 内藤メディカルクリニック 理事長



免疫細胞培養センター

「医師である私は手助けをする。患者さんの多くは精神的にも肉体的にも苦しみ、不安な闘いが続きますがその中でがんとの闘いという新しい目標を強く持つ事でがん克服のチャンスもある。」ということをまず説明する。

「医師である私は手助けをする

がん免疫細胞治療の経験から、患者さん自身のがん克服への強い意志が免疫細胞治療に良い効果をもたらすと実感しているからこそ、こうした点を重視するのです。がんとの闘いは医師が主役ではなく患者さんが主役となり医師のサポートを受け、患者さん自身が自らの免疫を活性化させる為に積極的な治療への参加が必要。そして強い闘争心と共に力を合わせて闘っていくもの。前向きな姿勢が非常に大切なことです。ストレスが免疫力を下げるのと同じく、頑張ろうという強い闘争心を持ち、前向きな気持ちが免疫力に良い影響を与える。がんとの闘いの中でがん克服後の素晴らしい夢のある未来を思い描くことで免疫治療にもよりよい効果が出るというのが長年の実感です。

立場、患者さん自身が、がんとの闘い、そして免疫細胞治療は患者さんであるあなたが主役なのだと言います。患者さんと一緒に頑張れる気持ちをまず作っていくこと。医師は病気を診るだけでなく患者さんそのものを診るという視点が実際に治療を行う医師にとってはもともと大切であり、そうした視点で行ってきた免疫細胞治療が奏効して遠方から当クリニックを選んで、多くの方に来て頂けるのだと実感しています。」

医療法人社団 聖友会

内藤メディカルクリニック

診療時間 ▶ 9:00~12:00/13:00~15:00

電話予約 ▶ 8:30~17:00、土曜~12:00 自由診療(完全予約制)

休診日 ▶ 土曜午後、日曜日、祝祭日

治療費例 ▶ 活性NK細胞治療1クール(6回)

240,000円×6回(税込) ※詳しくはお問い合わせください。

所在地 ▶ 名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル5階

アクセス ▶ 名古屋駅からJRもしくは名鉄で「金山駅」下車、南口徒歩約3分

電話 ▶ フリーダイヤル **0120-681-731**

内藤メディカルクリニック

検索